



## 高校野球のマナーとルールを学ぼう (第80回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。  
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えします。

### マナー編 グラウンド内は常にかげ足で!

選手権兵庫大会での出来事です。1死走者1塁で、打者は3塁側へ送りバント。打球を捕球した3塁手は、1塁へ送球し打者走者をアウトにしました。投手は、打球を捕球しようとした流れで3塁ベースのカバーに入りましたが、マウンドに戻る際、その投手に対して3塁審判員が何か指導しているようです。どのような指導をしたのでしょうか。

3塁の審判員は、歩いてマウンドに戻ろうとした投手に対し、かけ足で走って戻るよう指導したのです。

『大会運営上の留意事項』においても、「**投手は早く投手板に位置する。投手板につこうとしない投手は、早くつくよう指導する。**」と明記されています。

投手に限らず、ベースコーチを含めたすべてのプレーヤーは、グラウンド内では、常にかげ足で行動することが求められています。

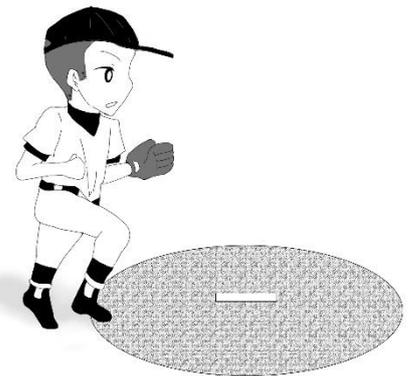
野手が打球を処理した後に守備位置に戻る場合であったり、捕手がタイムをとってマウンドに行く場合であったり、また、打者がバッタースボックスに入る場合など、プレーヤーがグラウンド内で移動する際は、常に機敏に走って移動することが求められているのです。

同留意事項では、審判員に対しても、「**グラウンド内では常にかげ足で、機敏に行動する。**」と明記されています。グラウンド内で競技に参加するプレーヤー全員(審判員も含む)が、このように機敏に走って行動することで、リズムのあるスピーディーな試合展開につながるのです。

高校野球が、昔から多くの高校野球ファンに愛されている根幹がこのようなところにあるのではないのでしょうか。

また、公認野球規則においても、「打者は自分の打順がきたら、速やかにバッタースボックスに入って打撃姿勢をとらなければならない。(5.04(b)(1))」、「投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球すること。また、これを受けた投手は、ただちに投手板を踏んで投球位置につくこと。(5.07(b)(1)(2))」と試合のスピードアップに関する規定が定められています。

常に、投手は打者を待たせない、打者は投手を待たせないという気持ちと姿勢で試合に臨みたいものです。



## ルール編 競技中のプレーヤーの禁止行為

走者1塁。投手がセットポジションをとった時、攻撃側のベンチから「逃げた！」（「走った」の意）との声が上がりました。投手は、その声につられ、思わず軸足をプレート板から外し、1塁走者を見ましたが、盗塁をした様子がありません。

球審は、タイムをかけ、攻撃側ベンチに何か説明しているようですが…

球審は、1塁走者が盗塁の行為をしていないにもかかわらず、投手を惑わせる目的で声を発したベンチの選手に対し、注意を促したのです。

公認野球規則では、**ボールインプレイのときに「タイム」と叫ぶか他の言葉又は動作で明らかに投手にボークを行わせようと企てることを「競技中のプレーヤーの禁止事項」と**しています。(6.04(a)(3))

ちなみに、競技中のプレーヤーとは、「監督、プレーヤー、控えのプレーヤー、コーチ、トレーナーおよびバットボーイ」のことを指し、ベンチ、コーチボックス、その他競技場のどの場所からもこのような行為を禁止しています。

選手権兵庫大会では、ベースコーチが、コーチボックスを出て、投球動作を始めた投手の視野に入り、足をバタつかせるなど動作を用いて投手を惑わせ、わざとボークを誘発させるような行為が見受けられました。

野球とは、投手と打者が、正々堂々とした姿勢でお互いの力を出し合うところから始まるスポーツです。

一部のプレーヤーの軽率な行動で、野球本来の醍醐味を失うことは無くしたいものです。



イラスト協力：兵庫県立姫路工業高等学校デザイン科  
マナー編：吉田 那奈さん (2年)  
ルール編：竹原 空 さん (2年)